

mmc NEWS

MEIDAI MASS-COMMUNICATION CLUB

発行／MMC 明治大学マスコミクラブ
meiji.mmc1@gmail.com
発行人／平石浩章
編集／校條真
山岸順一
隈元浩彦



▲ 明大生の聖地＝紫紺館で開催した新年総会

昨年2月に伝統ある明治大学マスコミクラブ（MMC）会長に就任致しました1985年法学部卒業の平石浩章（日テレアックスオン／イカロス）です。
コロナ禍明け、そして初めての会長職を何とか1年務めさせて頂いたのもMMC会員皆様のご支援、ご協力のおかげと感謝しております。誠にありがとうございました。
昨年MMCの活動方針として「コロナからの復活そして飛躍」MMCのプレゼンスを高めてい

会長あいさつ

MMCのプレゼンスを高めていこう！

会長 平石浩章



う」を掲げました。一年を振り返りますと、コロナ禍で活動を控えていたことから一転し、会員交流の場の創出と促進、学内親睦団体との交流、大学との連携、就活支援を通じた現役学生の支援、若手からベテラン世代までの新たな会員獲得への布石、地方会員との連携を進めてきました。

若手・中堅の現役世代から経験豊かな理事に至るまで一丸となり、迅速なフットワークとスピード感を心掛けて全力で運営に務めてまいりました。

その一方でまだまだ行き届かぬ点、皆様にご迷惑をおかけしたことも多々あったかと思いますが、昨年の反省を踏まえ、今年はさらにMMC及び明治大学を盛り上げていければと思っております。引き続きのご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

柳谷理事長・大六野学長を訪問

2023年12月13日(水)大学会館で、MMCの平石会長、校條・北山・高橋副会長計4名が、柳谷孝



▲ 柳谷理事長(左から3人目)・大六野学長(右から3人目)を表敬訪問

理事長・大六野耕作学長を表敬訪問した。

歓談は和やかに行われ、MMCからは今後もマスコミ講座を通じて大学に寄与していくことを説明し、大学側からは「引き続きの支援をお願いしたい」とのお言葉をいただいた。後日、「MMCマスコミクラブについて」と題する、規約や組織図・事業方針等を記した資料をお届けした。

《理事会を毎月開催する》

新年総会・懇親会、ビーパーティ、MMCサロン、ビジネス交流会、街あるきイベントほか、MMCの活動を議論・推進するため、に理事会を毎月開催した。

対面は主にリバイタワールのゼミ教室を使用(教室使用不可の場合は貸会議室)したほか、リモートを併

用したので、遠方の理事も参加でき、議論を深めることができた。



《ようこそ、MMCへ！》

2023年、MMCに入会された方々(敬称略)。

▼大野友和(73法/元明治大学経営企画部部長) ▼秋葉恭庸(03法/日本流通産業新聞社) ▼高地聡(17経営/信濃毎日新聞社) ▼石井雪乃(23情コミ/ADK) ▼井上梨乃(23文/集英社) ▼神丸大典(23商/テレビ朝日) ▼小林彩香(23法/読売エージェンシー) ▼小林恭平(23文/TOPOPAN) ▼谷村優太(23情報コミ/東京ドーム) ▼徳田早穂(23法/BCテレビ) ▼西尾文花(23文/日本放送協会) ▼西岡美音(23法/日本放送協会) ▼正木優至(23情報コミ/日本放送協会) ▼松本奈那香(23情報コミ/博報堂アイ・スタジオ) ▼柳町鮎香(23法/テレビ朝日)

MMCも果敢に“前へ” 2023年、主な活動報告

〈3年ぶりに新年総会・懇親会を開催〉

●旧交温め大盛況、若手も多数参加。新体制の船出ここに！

2023年2月3日(金)明治大学紫紺館6階のラウンジ明治で、「2023年度新年総会・懇親会」が3年ぶりに対面で開催された。参加者は63名(リモート参加者含む)。

総会は堀口博史会長挨拶のあと、「第1号議案2022年事業報告と決算報告」「第2号議案役員改選・会長選任」を審議し、満場一致で可決承認され、新しい理事が選出された。

新理事は別室で臨時理事会を開



▶ 内定者12名を迎えて笑顔弾ける懇親会

催し新執行部を選出。その後会場に報告し、満場一致で承認された。平石浩章新会長が「第3号議案2023年事業方針」を発表し、これも満場一致で承認された。

続く懇親会では、来賓として北野大校友会会長、川口誠人就職キャリア支援部長、高橋弘建設・不動産駿台会会長、眞柴眞明全国紫明クラブ会長代行らをお招きし、それぞれから心温まるご挨拶をいただいた。

懇談タイムのあとは大林龍彦マスコミ講座担当理事が内定者12人の紹介を行い、会場から大きな拍手と声援が飛んだ。

「内定者の皆さんが元気ですごく良かった」「久々に校歌を歌うことができた」「大人数で集まるのはやっぱり良いね」「紫紺館というシチュエーションが良かった」などの感想が聞かれ、最後は高らかに校歌を斉唱し、盛大のうちに幕を閉じた。

(※この日、「MMCニュース第37号」を発行した)

〈第33回「MMCサロン」開催〉

●新体制後初のサロンは、幅広い世代が参加し盛況

4月19日(水)神田神保町の華龍飯店で、MMCの懇親会「第33回MMCサロン」を開催しました。今回は、先の新年総会を経て、新体制後初の開催となり、幅広い世代の方たち約30名が参加。サロン初参加の方、コロナ後、久しぶりに参加された方などの自己紹介コーナーもあり、たい

「MMCビアパーティ 2023」 暑さを吹き飛ばせ!

●「1分間トーク」で大爆笑、七夕の夕べを満喫する。

7月7日(金)神田神保町 Dining Cate ESPERIA で、MMCの人気行事「夏のビアパーティ2023」が新卒の社会人1年生から1972年卒業の、50年生の大先輩に至るまで、会員・ご来賓合わせて30人が参加して開催された。

パーティーは仲里奈理事・高橋充理事のダブル司会で行われ、平石浩章会長の挨拶、長尾睦子副会長の乾杯で幕を開けた。しばしの歓談後、ご来賓の高橋弘建設・不動産駿台会会長、眞柴

へん盛り上がりました。



▲ MMCサロンは普段着で気軽に参加できる



▲ 1分間スピーチに登壇者は四苦八苦

眞明全国紫明クラブ会長代行からスピーチをいただいた。新企画として参加会員による「1分

間スピーチ」があり、1分ぴったりでチーンと鐘を鳴らすため、しどろもどろになる会員が続出し笑いを誘った。

中盤では、MMCホームページのリニューアルを担当した田代貴久理事がその特徴を紹介。見違えるような出来栄えに、会場から賛辞のため息が漏れた。



▲ “新装開店、のホームページをお披露目



▲ 野球部3連覇を報じる明スポを手に



▲ ビジネスを通じて連携や協業ができる

〈復活! 第6回MMCビジネス交流会を開催〉

●「北米EC事業 JCSについて」と題して事業プレゼンを行う

9月27日(水)千代田区岩本町ふれあい貸し会議室 秋葉原Aで「第6回MMCビジネス交流会」を開催し、会員8名が参加した。

今回は、1984年法学部卒の乾清和氏(NPO法人日本リユ

お待ちかねの校歌斉唱は、ESPERA店長の「厚意で「小声なら歌ってもよい」ということで、1番のみ抑えめに歌うことができた。校條副会長の中締めで閉会し、最後は東京六大学野球春季リーグ戦で見事3連覇を果たした野球部

を報じた明大スポーツを掲げ、全体写真を撮ってお開きとなった。

◆事務局 校條 真(84年政経学部卒/風讀社)



ス協会代表理事)が講師となり、「北米EC事業 JCSについて」と題して事業プレゼンを行った。

内容は、①北米のEC事業(Amazon)を活用して海外で売

販する事業、②海外で人気の日本文化を日本の店舗から発信販売する事業など、海外への商品物流から海外入金まで、ワンストップで運営するEC事業、等を紹介。

参加者からは「デジタル化の知見獲得・協業・ビジネスパートナーとして期待できる」との感想が挙がった。その後、参加者全員で自己紹介・事業紹介を行い、ビジネスマッチングの可能性を探っていた。

◆ビジネス交流会担当 中川時彦(80年商学部卒/河田印刷)

全国で活躍するMMC会員

「明友会」で那覇市内のお店を貸し切り校歌と泡盛で乾杯!

◆與那覇博明(81年商学部卒/RBC琉球放送OB)

沖縄ではMMC(全国ネットワーク理事)のほか、校友会役員として親睦・交流を行なっています。

その一つが「明友会」(会員27名)で、那覇市内のお店を貸し切り、校歌のあと泡盛・オリオンビールで乾杯、チャンプルー料理で楽し



▲ 新春の明友会(2024年1月10日)

明友会は20年以上も続いていて、証券会社や保険会社などの沖縄支店に転勤してきた校友も加入し、人脈作りや情報交換、単身赴任の寂しさ!解消に大いに役立っています。

沖縄には「いちやればちようでえー」(「一度出会えば皆きょうだい」という言葉があります。かつて海洋国家として中国・韓国・タイ・ベトナムと交流し、「人・物・文化」を受け入れた歴史とDNAを引き継いでいることが大きいのではないだろうか。

毎月第二土曜日には、本島北部のリゾート地にあるゴルフ場でコンペ。明治らしく「前へ」の気持ちでドライバーを振り回すのですが、オープン攻撃の早稲田じゃあるまいしボールは右や左へ……。悪戦苦闘しながら楽しんでいます。



▲ 第1回六大学対抗コンペで準優勝(2023年5月)

「明大校友会沖縄支部」

会員900人。県内の金融・保険・行政・マスコミ・政治などの分野で頑張っています。校友であれば「門戸開放」ですので、転勤やご来県の際はホームページなどを通してご一報ください。

*

学生に「地域振興におけるメディアと観光事業の役割」を講義

◆林浩史(90年文学部卒/十勝毎日新聞社代表取締役社長)

2023年11月16日、東京・創価大学で「現代マスコミ論」の講師として登壇し、「地域振興におけるメディアと観光事業の役割」と題して講義をしました。

約350人の学生たちには、事前に十勝毎日新聞電子版の無料アカウントを配布。電子版を使った事前学習として実際の報道内容のほか、紙媒体ではできないデジタルならではの魅力を経験してもらうことに。ある学生は「地方メディアが地域でどのような役割を担っているのか大変勉強になりました。チャレンジ精神で新しい事業に取り組んでいる姿勢にも感銘を受けました」と語ってくれました。

講義の内容を簡単にまとめると「十勝を世界で一番幸せな地域とするため、メディアと観光を中心に、報道するだけでなく行動で貢献していくことです」と前置きして、当社グループの事業概要や歴史について説明しました。

法学部4年のMさんは「地方メディアが地域の中で、どのような役割を担っていくことができるの



▲ 多くの学生たちで熱気あふれる教室

かがわかり、たいへん勉強になりました。ローカルを追求しつつも、チャレンジ精神で新しい事業に取り組まれている姿勢に感銘を受けました」と感想を寄せてくれました。



▲ “熱い講義”を繰り広げる林氏

中島みゆき、松山千春、ドリカムの吉田美和など十勝出身の有名人の話もしましたが、TBSの看板アナで明大の後輩安住紳一郎君は地元柏葉高校の出身で、後輩です。ぜひMMCへの入会を勧めなくてはいいかもしれません。

＊

歴史と文化の向島まち歩き
震災から100年後の向島を歩く

◆和田哲郎（77年政治経済学部卒／I&S BBDOOB）

2023年11月18日(土)、好天に恵まれ恒例のまち歩きイベントを開催。下町情緒あふれる向島を

訪ねて、古き良き時代を目と耳と、そして舌で味わうことができた。



MMCマスコミ講座

2023年度も好調、
内定者続出!

明治大学の現役学生がマスコミ業界への就職サポートを続けるMMCマスコミ講座は、大学からも高い評価を受けている。今年度の就職戦線でも大きな成果を挙げている。

コロナが感染症分類の第5類に引き下げられたのを受けて、就活支援を行っているMMCマスコミ講座は、主に対面による指導を行い、2023年の就職活動でも昨年（22年）に引き続いて輝かしい実績を挙げている。23年度のマスコミ講座は、前期のみの入室審査を経て20名が合格・入室し、6月16日からスタートした。

就活生を支えてきた講師陣は次の通り（敬称略）。▼大林龍彦（78年政経学部卒／共同テレビジョン）、▼古梶剛士（95年文学部卒／ぴあOB）、▼太田智一（00年法学部卒／PHP研究所）、▼鈴木正行（91年政治経済学部卒／産経新聞社）、▼志賀瑛七（18年文学部卒／日本経済社）。

マスコミ講座担当の大林理事は次のように語る。
Q. 講座はどのように行っているのか？

A. 大林と古梶は毎週、ほかの講師は4週に1回、予定を組んで担

当しました。「作文・エンタリシート作成・面接・グループディスカッション・企画の立て方・業界研究」など多岐にわたり指導し、作文は毎週宿題か実戦形式で書き、添削・講評しました。

Q. 2023年の就活をふり返って。

A. コロナ禍が少し納まったとはいえ、就活はリモートとリアルの二刀流で臨みました。ただ、対面ではマスクをしているので名前を覚えるのがひと苦労……。

しかし、結果は次の内定を獲得しました（23年12月現在）。日本テレビ、TBS、フジテレビ、BS日テレ、読売新聞社、共同通信社、JR東海エージェンシー、ADEX、DAC、日本SPセンター、マッグガーデン、シオノギ製薬、TOPPAN、三井不動産リアルティ、その他の大手企業にも内定しました。

合格したものの他社合格のため辞退したのが、NHK、中京テレビなどです。